

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2022年4月～6月期 NO. 67

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2022年4月～6月期の業況は▲0.3、前期比 9.1ポイントプラスと上向きました。
来期は両地域とも悪化する見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

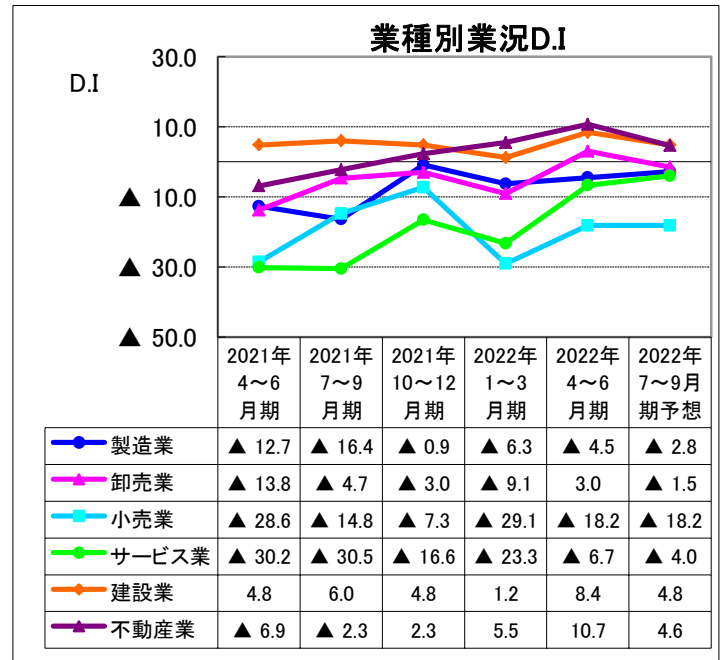
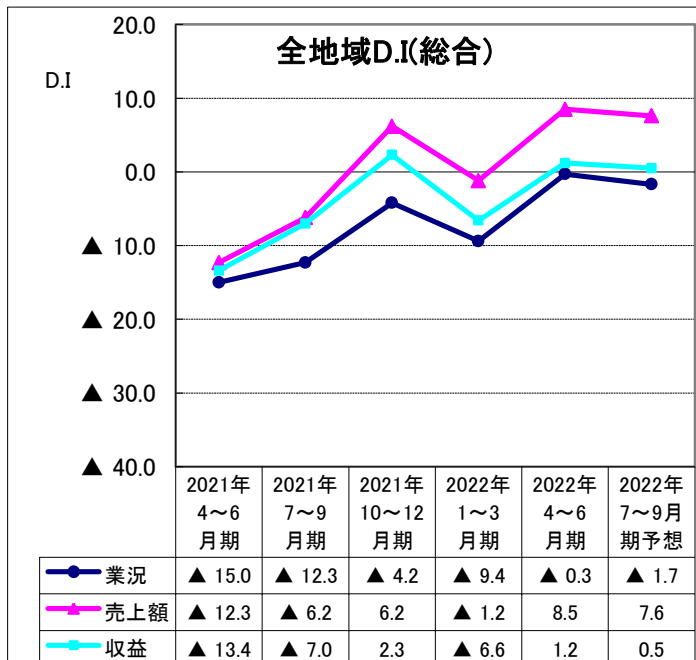
項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2022年1月～3月期	2022年4月～6月期	2022年7月～9月期予想	2022年1月～3月期	2022年4月～6月期	2022年7月～9月期予想	2022年1月～3月期	2022年4月～6月期	2022年7月～9月期予想
業況	▲ 9.4	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 12.2	1.8	0.4	▲ 6.3	▲ 0.7	▲ 1.1
売上額	▲ 1.2	8.5	7.6	0.4	10.3	8.8	▲ 1.1	9.1	8.4
収益	▲ 6.6	1.2	0.5	▲ 8.1	0.0	▲ 0.7	▲ 4.8	5.1	3.6
販売価格	11.5	19.2	15.6	14.0	23.4	18.4	8.1	16.4	14.2
仕入価格	40.7	44.6	36.5	45.2	51.3	41.5	33.8	38.0	32.5
在庫	▲ 2.0	▲ 1.8	▲ 4.5	▲ 1.5	0.5	▲ 3.4	▲ 6.2	▲ 8.2	▲ 8.2
資金繰り	▲ 1.3	▲ 1.8	14.7	▲ 0.7	▲ 0.4	16.5	▲ 1.1	▲ 1.8	13.5
人手	▲ 15.7	▲ 16.8	▲ 15.8	▲ 22.1	▲ 19.4	▲ 18.0	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 13.6
設備状況	▲ 6.9	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 4.3	▲ 3.9	▲ 3.4	▲ 10.2	▲ 7.4	▲ 7.4

2022年4月～6月期実績

《 全業種で上向き 》
当期の全地域の全業況D.Iは▲0.3、前期比9.1ポイントプラスと上向きました。全地域の業種別では、全業種において上向きました。

2022年7月～9月期見通し

《 両地域とも悪化する見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは▲1.7、当期比1.4ポイントマイナスと低迷する見通しです。全地域の業種別では、製造業、サービス業において上向き見通しです。地域別では、両地域とも悪化する見通しです。



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2022年6月上旬

3. 調査対象期間

2022年4月～6月期実績（2022年1月～3月期との比較）

2022年7月～9月期予想（2022年4月～6月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

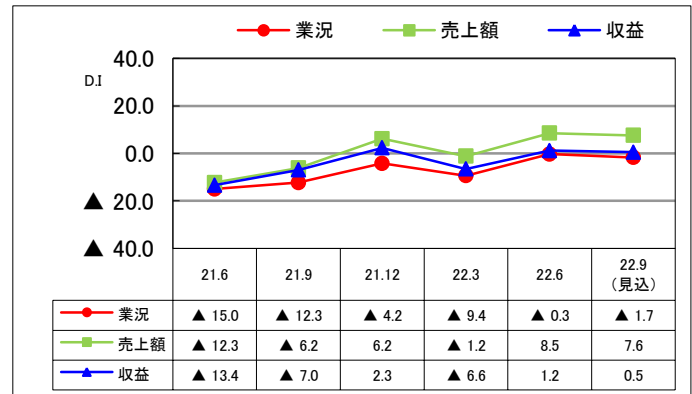
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	111	99.1%
卸売業	67	67	100.0%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	83	98.8%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	598	99.7%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D. Iは▲0.3、前期比9.1ポイントプラス（前年同期比+14.7）と上向きました。業種別では、全業種において上向きました。

来期予想D. Iは▲1.7、当期比1.4ポイントマイナスと低迷する見通しです。業種別では、製造業、サービス業において上向き見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D. Iは8.5、前期比9.7ポイントプラス（前年同期比+20.8）と好転しました。業種別では、全業種において上向きました。

来期予想D. Iは7.6、当期比0.9ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、サービス業において上向き見通しです。

3. 収益

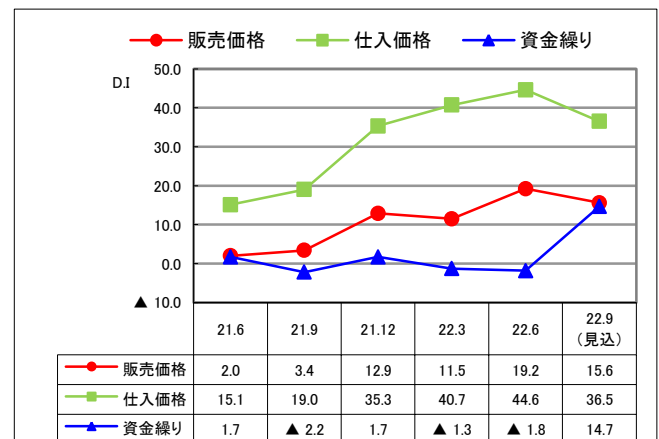
全業種における収益D. Iは1.2、前期比7.8ポイントプラス（前年同期比+14.6）と好転しました。業種別では、全業種において改善しました。

来期予想D. Iは0.5、当期比0.7ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、卸売業、小売業、サービス業において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD. Iは▲1.8、前期比0.5ポイントマイナス（前年同期比 ▲3.5）と厳しさが増しました。業種別では、サービス業、建設業において和らぎました。

来期予想D. Iは14.7、当期比16.5ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D. Iは19.2、前期比7.7ポイントプラス（前年同期比+17.2）と上昇幅が拡大しました。業種別では、不動産業以外の業種において上昇しました。

来期予想D. Iは15.6、当期比3.6ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、製造業以外の業種において低下する見通しです。

6. 仕入価格

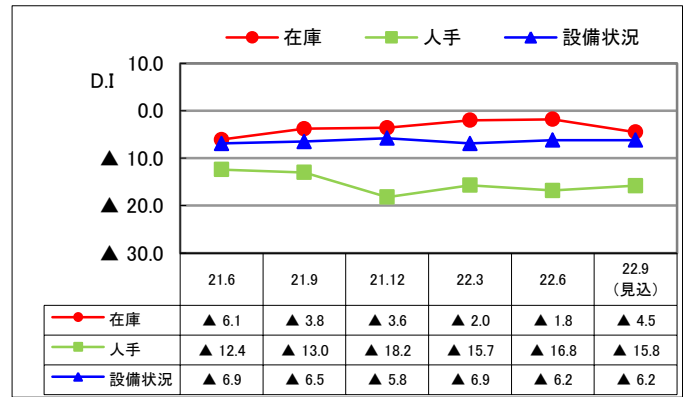
全業種における仕入価格D. Iは44.6、前期比3.9ポイントプラス（前年同期比+29.5）と上昇幅が拡大しました。業種別では、不動産業において低下しました。

来期予想D. Iは36.5、当期比8.1ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲1.8、前期比0.2ポイントプラス（前年同期比+4.3）と不足感が改善しました。業種別では、製造業と建設業で不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲4.5、当期比2.7ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、サービス業以外の全業種で不足感が強まる見通しです。



8. 人手

全業種における人手D.Iは▲16.8、前期比1.1ポイントマイナス（前年同期比 ▲4.4）と不足感が強まりました。業種別では、小売業で不足感が強まりました。

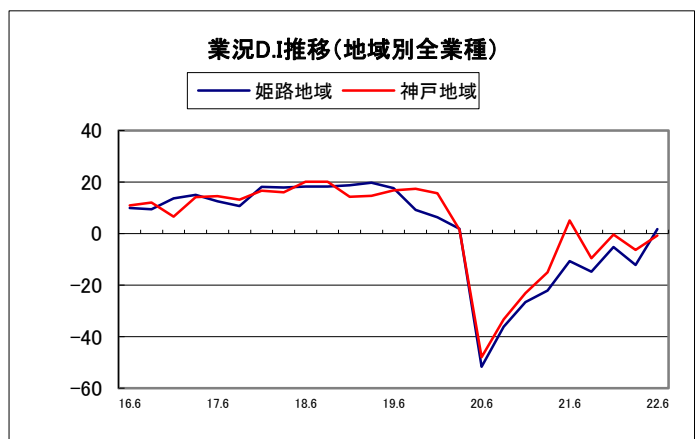
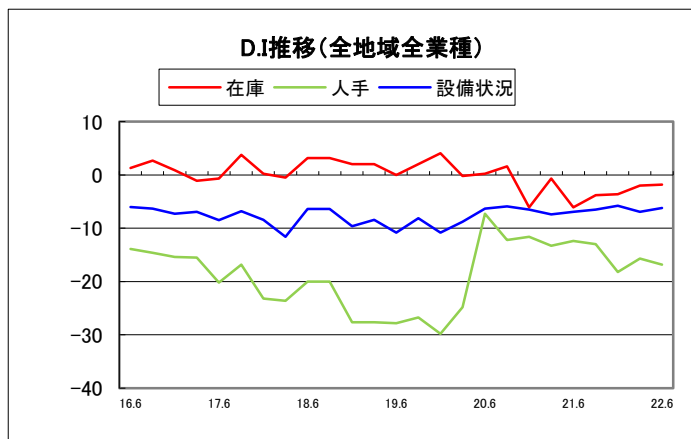
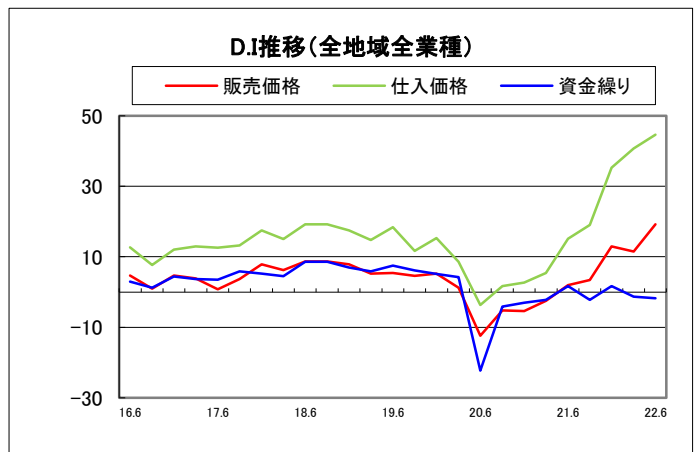
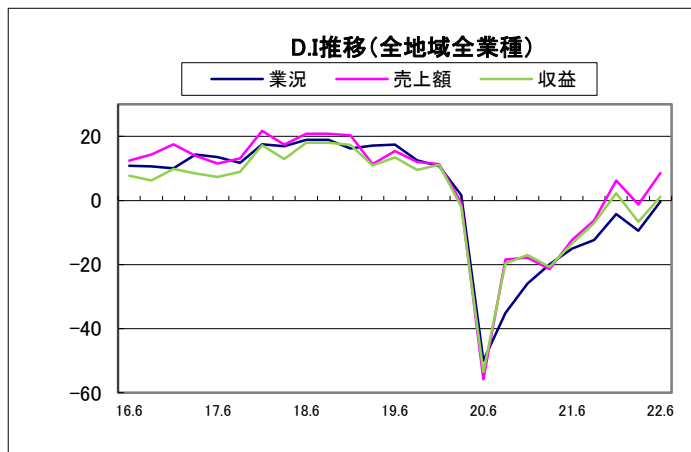
来期予想D.Iは▲15.8、当期比1.0ポイントプラスと不足感が改善する見通しです。業種別では、サービス業以外の全業種で不足感が改善する見通しです。

9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲6.2、前期比0.7ポイントプラス（前年同期比+0.7）と改善しました。また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は32.6%、前期比0.6ポイントプラス（前年同期比2.9）と増加しました。また業種別では、小売業、建設業において設備投資を行った企業の割合が増加しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は33%、当期比増加0.4ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移



地域別景況D. I

□ 全業種総合

(姫路地域) 回答企業323企業 (回答率99.7%)
(神戸地域) 回答企業275企業 (回答率99.6%)

1. 業況

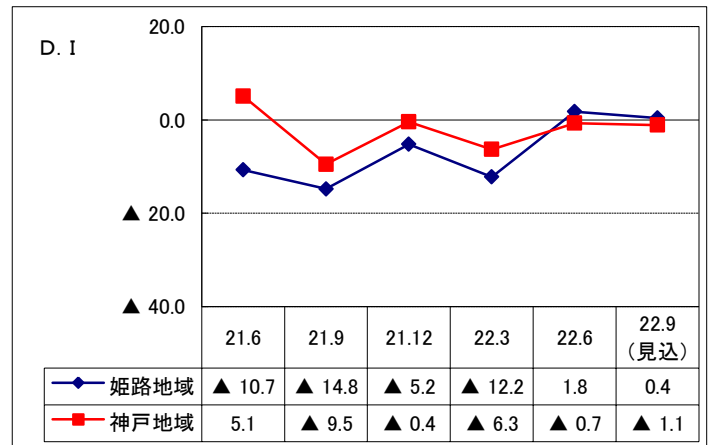
姫路地域の業況D. Iは1.8、前期比14.0ポイントプラス（前年同期比+12.5）と改善しました。

来期予想D. Iは0.4、当期比1.4ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。

神戸地域の業況D. Iは▲0.7、前期比5.6ポイントプラス（前年同期比 ▲5.8）と上向きました。

来期予想D. Iは▲1.1、当期比0.4ポイントマイナスと低迷する見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも上向きました。



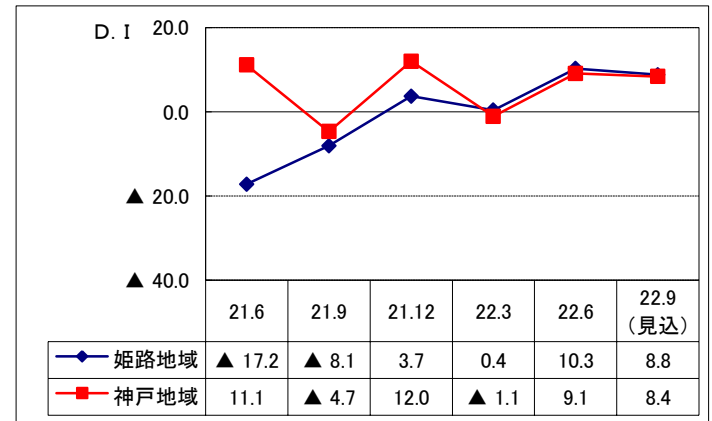
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは10.3、前期比9.9ポイントプラス（前年同期比+27.5）と好調さを強めました。

来期予想D. Iは8.8、当期比1.5ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは9.1、前期比10.2ポイントプラス（前年同期比 ▲2.0）と好転しました。

来期予想D. Iは8.4、当期比0.7ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



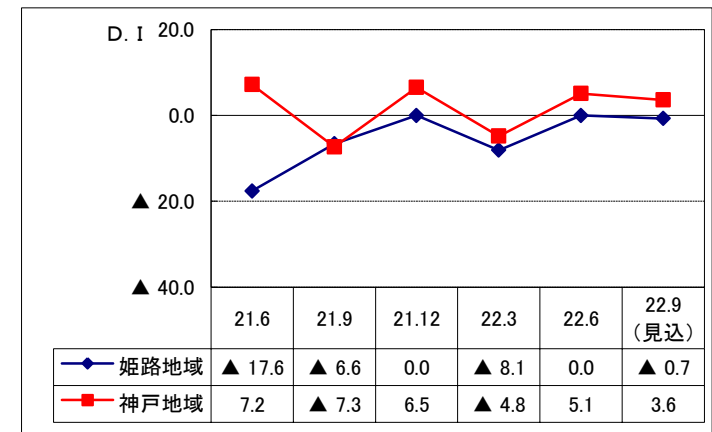
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは0.0、前期比8.1ポイントプラス（前年同期比+17.6）と好転しました。

来期予想D. Iは▲0.7、当期比0.7ポイントマイナスと水面下に落ち込む見通しです。

神戸地域の収益D. Iは5.1、前期比9.9ポイントプラス（前年同期比 ▲2.1）と好転しました。

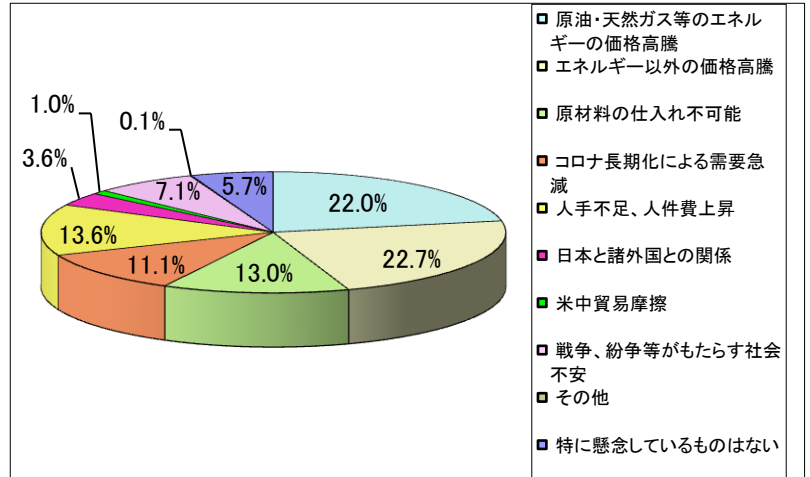
来期予想D. Iは3.6、当期比1.5ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



混迷する経済社会情勢と中小企業経営 —コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて—

問1 貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。下記の1~0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰
2. エネルギー以外の価格高騰
3. 原材料の仕入れ不可能
4. コロナ長期化による需要急減
5. 人手不足、人件費上昇
6. 日本と諸外国との関係
7. 米中貿易摩擦
8. 戦争、紛争等がもたらす社会不安
9. その他
0. 特に懸念しているものはない

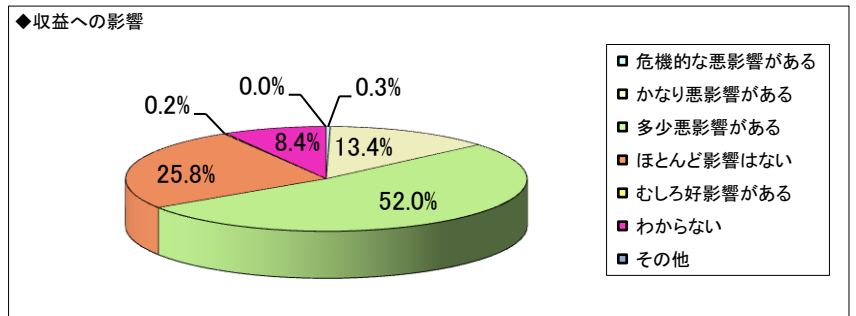


「貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか」について、最も多い回答は「エネルギー以外の価格高騰」22.7%、次いで「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」22.0%、「人手不足、人件費上昇」13.6%という結果となりました。

問2 貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1~7の中から1つ選んでお答えください。また、今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか。下記の8~9の中から1つまで選んでお答えください。

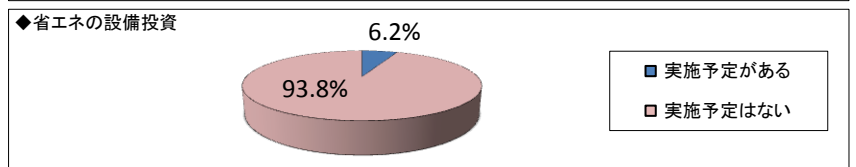
◆収益への影響

1. 危機的な悪影響がある
2. かなり悪影響がある
3. 多少悪影響がある
4. ほとんど影響はない
5. むしろ好影響がある
6. わからない
7. その他



◆省エネの設備投資

8. 実施予定がある
9. 実施予定はない

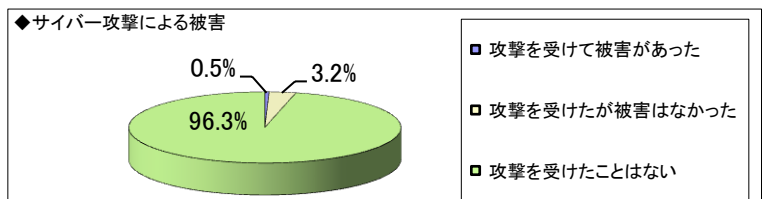


「貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか」について、最も多い回答は「多少悪影響がある」52.0%、次いで「ほとんど影響はない」25.8%、「今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか」について、「実施予定がある」は6.2%、「実施予定はない」は93.8%という結果となりました。

問3 企業や団体などを標的としたサイバー攻撃による被害が数多く報告されています。貴社は、サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。下記の1~3の中から1つ選んでお答えください。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。下記の4~7の中から1つ選んでお答えください。

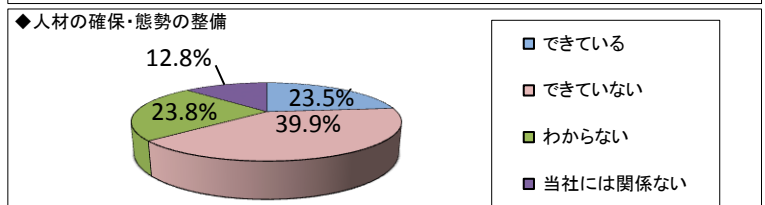
◆サイバー攻撃による被害

1. 攻撃を受けて被害があった
2. 攻撃を受けたが被害はなかった
3. 攻撃を受けたことはない



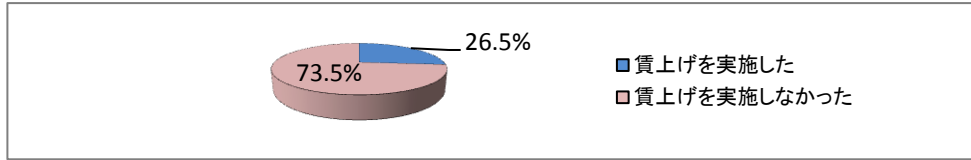
◆人材の確保・態勢の整備

4. できている
5. できていない
6. わからない
7. 当社には関係ない



「貴社は、サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか」について、最も多い回答は「攻撃を受けたことはない」96.3%、次いで「攻撃を受けたが被害はなかった」3.2%、「サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか」について、最も多い回答は「できていない」39.9%、次いで「わからない」23.8%、「できている」23.5%という結果となりました。

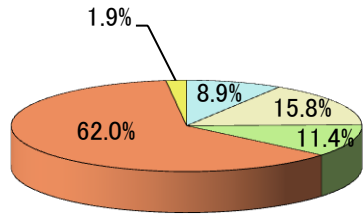
問4 経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。実施した場合は、その理由について、最もあてはまるものを次の1～5の中から、賃上げを実施しなかった場合は、その理由について最もあてはまるものを次の6～0の中から1つ選んでお答えください。



◆賃上げを実施した理由

1. 政府の賃上げ要請
2. 自社の業績改善を反映
3. 同業他社、地域他社の賃上げ
4. 従業員の待遇改善
5. その他

◆賃上げを実施した理由

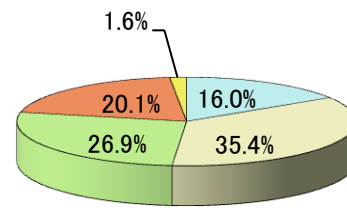


- 政府の賃上げ要請
- 自社の業績改善を反映
- 同業他社、地域他社の賃上げ
- 従業員の待遇改善
- その他

◆賃上げを実施しなかった理由

6. これまでに賃上げを実施済み
7. 景気見通しが不透明
8. 自社の業績状況
9. 賃上げを検討したことがない
0. その他

◆賃上げを実施しなかった理由

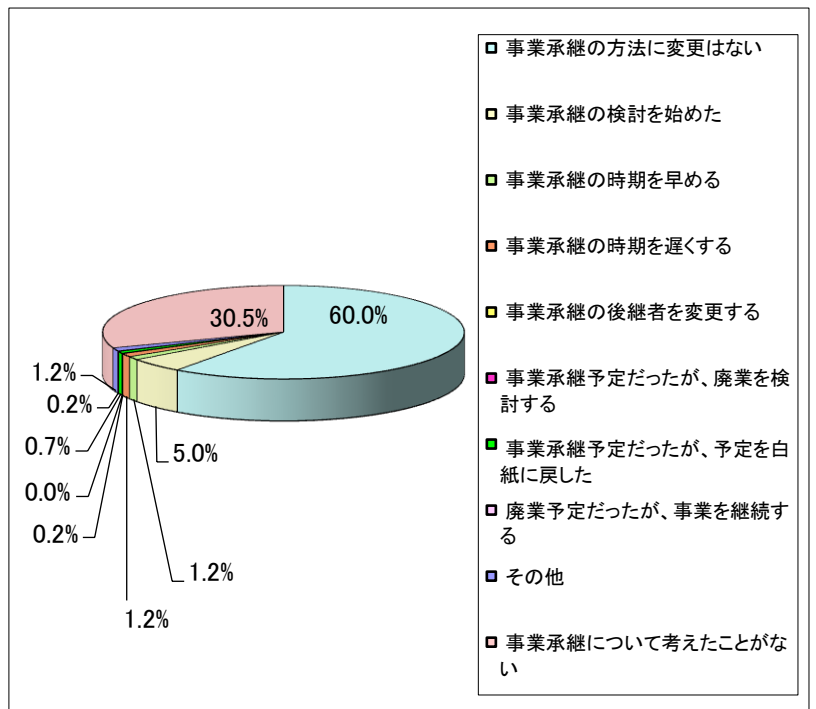


- これまでに賃上げを実施済み
- 景気見通しが不透明
- 自社の業績状況
- 賃上げを検討したことがない
- その他

「経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、貴社では、今春、賃上げを実施しましたか」について、賃上げを実施した理由で最も多い回答は「従業員の待遇改善」62.0%、次いで「自社の業績改善を反映」15.8%、賃上げを実施しなかった理由で最も多い回答は「景気見通しが不透明」35.4%、次いで「自社の業績状況」26.9%という結果となりました。

問5 貴社では、コロナ禍を受けて、事業承継(M&Aを含む。)についての考え方に変化はありましたか。次の1～0の中から1つ選んでお答えください。

1. 事業承継の方法に変更はない
2. 事業承継の検討を始めた
3. 事業承継の時期を早める
4. 事業承継の時期を遅くする
5. 事業承継の後継者を変更する
6. 事業承継予定だったが、廃業を検討する
7. 事業承継予定だったが、予定を白紙に戻した
8. 廃業予定だったが、事業を継続する
9. その他
0. 事業承継について考えたことがない



「貴社では、コロナ禍を受けて、事業承継(M&Aを含む。)についての考え方に変化はありましたか」について、最も多い回答は「事業承継の方法に変更はない」60.0%、次いで「事業承継について考えたことがない」30.5%、「事業承継の検討を始めた」5.0%という結果となりました。